

# 令和2年度 水産多面的機能発揮対策シンポジウム

## 「多様な主体の連携による里海保全」開催概要

－ 令和2年度水産多面的機能発揮対策支援委託事業（水産庁委託事業）－

水産業と漁村には、国民の皆様には新鮮で安全な水産物を安定的に供給する役割の他、藻場や干潟等の沿岸環境、河川環境の保全、監視活動や海難救助活動、環境教育の場の提供など多面的な役割があります。

しかしながら近年、漁村の人口減少や漁業をめぐる状況の変化により、これらの多面的な役割を果たすことが難しくなっています。このため、全国の約750のグループが、国と地方公共団体の支援のもと「水産多面的機能発揮対策」を活用し、これらの多面的な役割を発揮するための活動に取り組んでいるところです。

本シンポジウムは、「水産多面的機能発揮対策」に取り組むグループの中でもNPOや企業、学校などの多様な主体と連携して保全活動に取り組むグループより、これまでの活動の成果や課題について多様な主体の視点からご報告いただくことで、他のグループの参考としていただくとともに、広く一般の皆様にもこの取り組みへのご理解とご協力をいただくことを目的として開催するものです。

■主催：全国漁業協同組合連合会 全国内水面漁業協同組合連合会

■後援：全国地方新聞社連合会（予定）

■会場・日程：

会場	一橋講堂（東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター2F）
日時	2021年2月22日（月）13:00～16:30（12:00開場）
定員	250名（事前登録制により、当日の飛び入り参加はできません）

※ウェブでの同時配信を予定しています。

■参加対象：

- （1）水産多面的機能発揮対策に参加する活動組織とその構成員
- （2）関係都道府県、市町村及び地域協議会の事業担当者
- （3）市民活動や環境問題等に興味のある学生（高校生・専門学校生・大学生）
- （4）教育関係者（小・中学校、高等学校等）
- （5）水産多面的機能発揮対策に興味のある個人、団体、企業等（一般）

※新型コロナウイルス感染症等の流行状況により、開催を中止する場合があります。その場合は、[「hitoumi.jp」](http://hitoumi.jp)において発表及びディスカッションの内容を配信します。

問い合わせ先

全国漁業協同組合連合会 関根・片瀬

電話：03-6222-1315 070-3916-4289（直通）

E-mail：[info@hitoumi.jp](mailto:info@hitoumi.jp) FAX：03-6222-1361

## ■プログラム

時刻	内容	備考
12:00～	開場・受付	
13:00～	開会、挨拶、オリエンテーション	挨拶：JF全漁連
講演		水産庁
13:15～ 13:45	演題：「多様な主体の連携による里海保全」（仮題） 演者：NPO法人 海辺つくり研究会 理事 木村 尚 氏	司会：JF全漁連
活動報告		<コーディネーター>
13:50～ 14:10	●浦村地区藻場保全活動組織（三重県鳥羽市） 発表者：平賀 大蔵 氏（鳥羽市立海の博物館 館長）	関いずみ 氏 （東海大学海洋 文明学科教授）
14:10～ 14:30	●蒲郡市漁場環境保全協議会（愛知県蒲郡市） 発表者：林 正人 氏（蒲郡市立西浦小学校 校長）	
14:30～	休憩	
14:40～ 15:00	●竹ヶ島海中公園のエダミドリイシサンゴを守る会（徳島県海陽町） 発表者：藤田 奈都季 氏（海陽町観光協会）	
15:00～ 15:20	●高尾野川をきれいにする会（鹿児島県出水市） 発表者：高崎 正風 氏（高尾野内水面漁協 組合長）	
15:25～ 16:25	◆多様な主体との連携を推進するための提言 発表者：樋田陽治 氏 （水産多面的機能発揮対策検討委員会委員・連携推進検討部会座長） ◆ディスカッション <コメンテーター> ・大浦 佳代 氏（海と漁の体験研究所 代表） ・木村 尚 氏（NPO法人海辺つくり研究会 理事） ・關口 寿也 氏（東京都多摩市立南鶴牧小学校 校長） ・樋田 陽治 氏（元 山形県内水面漁業協同組合連合会） <講演者・発表者> ・平賀 大蔵 氏（海の博物館 館長） ・林 正人 氏（蒲郡市立西浦小学校 校長） ・藤田奈都季 氏（海陽町観光協会） ・高崎 正風 氏（高尾野内水面漁協 組合長）	
16:25～	挨拶、閉会	挨拶：全内漁連

※発表者・コメンテーターは変更する場合があります。

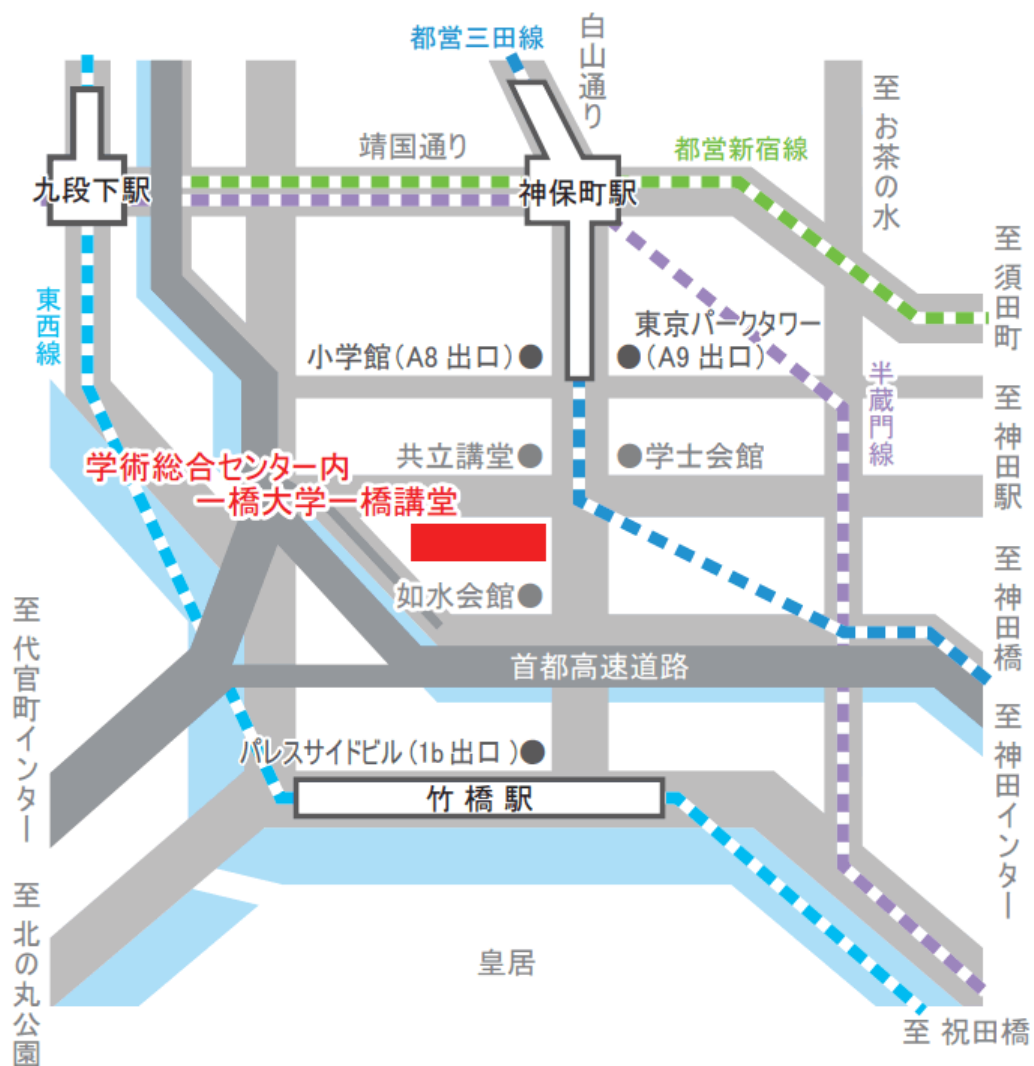
※感染症対策のため、リモートでの発表となる場合があります。

■ポスター（テキストに収録）※展示なし

活動組織名	地域	主な活動内容
小猿部川の伝統漁法を守る会	秋田県北秋田市	内水面生態系の保全
酒田港藻場づくり会	山形県酒田市	藻場の保全
矢作川の環境を守る会	愛知県豊田市	内水面生態系の保全
櫛田川第一漁業協同組合活動組織	三重県松阪市	内水面生態系の保全
早田地区再生協議会	三重県尾鷲市	藻場の保全
取り戻そう再生赤野井湾	滋賀県守山市	ヨシ帯・浅場の保全
前潟干潟研究会	広島県廿日市市	干潟等の保全
藤曲浦地区活性化グループ	山口県宇部市	干潟等の保全
下関ひびき藻場保全グループ	山口県下関市	藻場の保全
伊木力漁場保全の会	長崎県諫早市	藻場の保全
安岐地区藻場干潟保全活動組織	大分県国東市	藻場・干潟等の保全
日出地域活動組織	大分県日出町	藻場の保全
大根占藻場保全会	鹿児島県錦江町	藻場の保全
万之瀬川振興会	鹿児島県南九州市	内水面生態系の保全

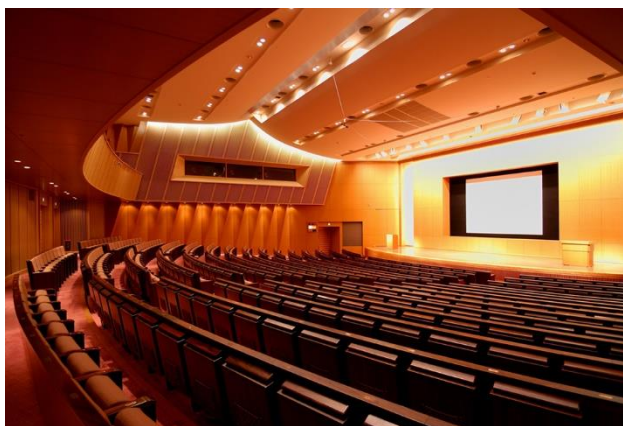
※対象組織は変更する場合があります。

■ アクセス・内観



- ・東京メトロ半蔵門線、都営三田線、都営新宿線 神保町駅 (A8・A9 出口) 徒歩4分
- ・東京メトロ東西線 竹橋駅 (1b 出口) 徒歩4分

アクセス (引用：一橋大学HP <https://www.hit-u.ac.jp/hall/access.jp.html>)



講堂内観 (引用：一橋大学HP <https://www.hit-u.ac.jp/hall/facility.html>) (席数521席)

## 一橋講堂会議室における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン

2020年7月

一橋講堂会議室では、新型コロナウイルス感染症拡大防止及びご利用者様の安全確保の観点から以下の対応を行いますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

### 【本施設の防止対策】

- 施設入り口に消毒液を設置いたします。
- テーブル・マイクなど設備・備品・機材は定期的に消毒を行っております。
- 会場扉の開放及び空調による換気を定期的に行っております。
- スタッフは感染症防止の為、マスク着用を徹底しております。
- スタッフは出勤前の検温・定期的な手洗い・消毒の徹底等により自己の体調管理に努めております。
- 化粧室のハンドドライヤーは休止いたします。

### 【ご利用・入館の方へのお願い】

- 別紙の「一橋講堂会議室 コロナウイルス感染症拡大防止に関する確認事項」をご一読いただき、確認事項に同意の上、ご署名欄に記入・捺印後、当日一橋講堂利用案内窓口までお持ちください。
- 万が一感染者が出た場合に備え、会場に入館された方が確認出来るよう入館者名簿（※）及び当日の会議場レイアウト図の提出をお願いいたします。
- 入館の際はマスク着用をお願いいたします。マスクを着用でない方の入館はご遠慮いただきます。
- 石鹸による手洗い・うがい・手指消毒液の使用についてご協力をお願いいたします。
- 各会議室には消毒液はございません。ご使用の際はご利用者様による持込をお願いいたします。
- ハンドドライヤーを休止している為、ハンカチなどの持参をお願いいたします。
- 受付時に間隔を空けて並んでいただくことをお願いしております。列ができる場合は最低1m（できるだけ2mを目安に）の間隔を推奨いたします。
- ご利用の際は可能な限り会場扉を開放して換気に努めていただきますようお願いいたします。
- 37.5度以上の発熱や咳・咽頭痛などの症状がある方の入館はご遠慮いただきます。
- 過去2週間以内に新型コロナウイルス感染症陽性と診断された方との濃厚接触があった方や同居している方に感染が疑われた方の入館はご遠慮いただきます。
- 過去2週間以内に、感染が引き続き拡大している国・地域へ訪問したことがある方や感冒症状で受診や服薬をした方は入館をお控えください。
- ご利用の際は2名掛けの机を1名掛けとして使用するなど、別紙のレイアウト例をご覧ください。
- 体調不良であることが見受けられる方にはスタッフよりお声がけさせていただく場合がございます。
- 政府または東京都その他関係諸機関から公表されているガイドラインに則り、徹底した感染症防止対策を行ってください。
- ご利用者の皆様（主催者・参加者・業者等含む）に対し、新型コロナウイルス感染症に関連して必要に応じて保健所等の公的機関へ提供される場合があります。

（※）入館者名簿とは当日、本施設を利用された主催者・参加者・業者等全ての方々が把握できる名簿を指します。